「みんなで良くなるPTA」令和4年度活動報告

【西河原 小学校】

どのような取り組みでしたか？
PTA委員の削減と負担軽減の取り組み

困っていたことは？
・現状、１児童につき２ポイント取得（執行部１回か各種委員２回）をお願いしていますが、生徒数に対しての執行部と委員の数が多く、高学年で３ポイント目を取らないといけない会員の方が多数出てきている。 ・各役員、委員の仕事の量や地域団体への派遣が多く、負担になっている。 ・地域行事やそれに付随する会議も多く、休みが取れず、負担になっている。

良くするための取組み工夫は？
・家庭教育学級が、保護者の人数が少ないため、PTAの委員会の仕事として無理にやってきていたが、趣旨とは離れ、自ら学習するのではなく、強制になっていた為、PTAから切り離して、独立させました。 ・地域団体への派遣要請が、強制になっていた為、本当に派遣する必要があるか、過去に派遣してもらった方や現役員さんにヒアリングを行いました。 ・学校の運動会、地区体育祭は、例年別日で行なっていた為、担当役員はそれぞれ予定を開けないといけなかったのと、そもそも地区体育祭は、自治会に入っていないと参加できないという不平等が起きていました。子どもたちの公平性確保・役員の負担軽減・コロナ禍を理由に、同日開催を提案しました

どのような結果でしたか？
・家庭教育学級を切り離すことで、仕事量が減り、4つあった委員会を、次年度から３つに減らすことができました。 ・ヒアリングを行うことで、本当に必要な派遣かどうかを知ることができ、派遣人数を減らすことができました。 ・学校・地域・PTAが協力して、初めて、午前中は運動会、午後から地区体育祭を行うことができました

さらに良くするためには？
まだまだ子どもの数に対しての役員・委員が多すぎるので、今年度から「子どもたちのためになる、やってよかったと思える楽しいPTA活動」を目標とし、人数や活動内容、派遣等全てのことにおいての一からの見直しを行い、３年計画でスリム化を進めています。